

都市システム工学科

平成 18 年度後期 授業点検・FD 研修会 記録

日時：平成 19 年 3 月 20 日 13:00～18:00

場所：都市システム工学科 東棟会議室

出席：福沢 沼尾 小柳 金 安原 桑原 横木 村上 原田 山田 信岡 呉 寺内

記録：寺内

写真：金

(1) 平成 18 年度後期授業記録・点検表提出状況について

提出状況について説明が行われ、未提出の記録について担当者より説明を求めた。

- ・都市システム設計演習 II（複数教員によるクラス分割授業）は記録が正規授業×担当者数分の分量になり、とりまとめを 1 人で行うのは負担が大きい。記録作成の方法に改善が必要。
- ・今月中完成を目標とする。

(2) 平成 18 年度後期授業点検入力状況について

入力状況について報告がなされた。

- ・未記入が 30 科目あり、前期授業でも未記入がある。学期中または年度中に入力することを確認した。

(3) 平成 18 年度卒業研究のまとめおよび卒業要件の確認方法について

担当者より報告がなされた。また、以下のことが議論された。

- ・卒業進級に関する JABEE 要件のチェックについて、とくに過渡期の学年に対して。
- まとめ：卒業生の履修条件のチェックは入学時のクラス担任が指導する。成績表も同担任が渡す。H18 年度 4 年生もこのルールを準用する。

(4) 授業記録点検について

出席者全員により、2、3 科目ずつ点検、不備な点を指摘しあい、指摘された箇所については学期中に各自訂正することを確認した。

(5) 平成 20 年度実施に向けた学科教育方針について

検討資料 061222（別紙）の内容が話題提供としてだされ、以下に議論された。

（大学院の進学状況について）

- ・大学院進学率が低い。
- ・志望しない学科だったから大学院にも行かないのでは。
- ・成績上位者が必ずしも進学せず、下級生にも良い影響はあたえていない。成績分布と進学傾向の関係を明らかにすべき、上位で進学しない人はどこに行っているのか。
- ・仮配のときに就職か進学かを決めているのでは？ 3 年生までの教育や知的レベルをどうやってあげるのかが、問題。

- ・ カリキュラムなど、学部との違いがだせるか。院生とふれる機会も重要。
- ・ 成績よりもまずやる気のある人が進学しているかどうか懸念される。

2. 入学志願者増（高校生）に対する取り組み

以下の内容が話題提供として出され、これに関して議論が行われた。

志願者減に対して、現状、見通しは暗い、特に後期日程の志願者減が甚だしい。かつては多かった東北地方からの志願者が減ってきている。取り組みは大学全体または工学部全体で、工大連携で、ざっくばらんに高校の先生の話聞くべきでは？社会的な変化や要望 = 高校生や高校の先生が何を望んでいるのかをよくわかっていないのでは？

1. 短期的対策

愛のある教育、愛する学生を送り出す教育、高校訪問の重点県、重点高校、福島大学の勢い、進路担当と校長に合う、受験生とOB、減少したところの回復を目指す。物理的な環境の問題（学生寮など）高校との連携の強化、教員の本音を聞く、教員と仲良くなる

2. 長期的対策

顔がみえる学科作り、出口がみえる学科作り、留学生対策

19年度として、私学の分析、大学、工学部のなかでの学科の戦略づくり、重点県と高校の選別、多面的広報作戦（パンフレットの見直しなど）などの案がだされた。

3. その他

授業記録の自己点検表など、フォーマットを早期に用意されることが要望された。

